

平沢勝栄に

聞け!!

福田前首相の辞任、
栃木の水没事故、
政界再編と総選挙。
作家・村野まさよしが
平沢勝栄に迫る!!

ガ

ソリンの高騰をキツカケに、また「日本の失われた十年」が再来しそうな気配だ。国会議員や官僚、そして全国の知事や首長、地方議会議員の人たちも、本当に他人事みたいな表情で、付け焼き刃的なことを言うばかりである。このままでは、日本丸がいよいよ沈没しちゃうかもしれない。そんな危機感を背景に、衆議院議員である平沢勝栄氏にあれこれと話を聞きに行く作家・村野まさよしであった。

★ ★ ★

平沢 福田さんの突然の辞任には参りました。公明党へのあてつけとか、いろいろとその理由が言われていますけれど、あまりにもガマンが足りない。今回は自分でなりたくてなった総理大臣ではなかったことと、二世議員だから苦勞を知らずに国会議員、そして総理になった……。だから行き詰まったら死力を尽くすことをせずすぐに投げ出しちゃう。そのところが、今回の辞任の真相なんでしょう。

村野 苦勞を知らない人間は駄目ですよ。私も、テレビ屋さん、年上の編集者、美形の女性たち……。などなど、多方面の人たちから、ずいぶん人生勉強をさせていただきました。ですから、約十年前からこんな利他主義の好人物になれたんです。

平沢 村野さんはお坊さんになつたほうがいくらい人徳がありますよ。

村野 それにしても、平沢さんと私は、メディアのパワーを最大限に発揮して日本の改革に尽くしてきましたよね。知らない人も少なくないですけど……。まずは十五年前から、メディア界で私ただ一人、大都市差別の地方交付税制度や各種の補助金のことを「新潮45」や「週刊文春」などで叫びはじめました。「朝まで生テレビ」などで

村野まさよし/1954年、東京都中野区生まれ。85年に「日本のお米」、「日本の米づくり」で当時無名だった「あきたこまち」を有名品種にし、食糧管理法削減のキッカケを作る。「朝まで生テレビ」、「たけしのTVタックル」などの出演も多数。「週刊文春」、「新潮45」などに執筆している

も、ほとんど村野の独演会をやりました。

平沢 ちようど私が国会議員になつたばかりのころで、十年前、村野さんが必死に吠えていたそのテーマに賛同したんです。それで、村野さんが私のところに、テレビのインタビューでおいで

村野 当時の村野は、危機感、焦燥感でいっぱいだったんです。このたび自民党の国会対策副委員長になられた平沢さん、今の日本の閉塞状態を早く打破してください。せつかく景気も回復してきた矢先、また、失われた十年が、始まってしま

いそうです。

平沢 そうですが、いまの日本にはあまりにも危機感がないんですよ。まずは各党の国会議員がもつと危機感を持たなければダメです。今のガソリン高騰の問題においても、漁業の皆さんは夏の早い時期に一日の全面休漁をやられた。もちろん、魚介類は国民の皆さんの生活に直結するので、約七百億円の漁業支援を国が行なうことになった。全国の二万社以上の会社が営業されているトラック業界の皆さんは、八月の末に抗議の全国大会を開き、自民党本部にも大勢来られました。補正予算で支援する予定です。農業の皆さんにも、供給力、競争力を強化するための支援策を検討中です。

村野 そういうところが、田舎政党の自民党の面目躍如です。すでに、農業の皆さんには、農業機械が使うガソリンなどの税金ふんを還元するシステムが、四十年前から存在しています。ピカピカの農道や農免道路です。十年ほど前までは、選挙のとき農村の票で勝ちつづけてき



と飛行機で600km移動する。ビルを数日飲む。とにかく、人間、何をしてもリスクと隣り合わせなんですよ。そうしたことを警察官の教育で徹底しないといけません。警察官そのものにもリスク感覚が欠如していませんよ。

平沢 ところが、警察庁の生活安全局では、さっそく全国の警察に、当たり前前の通達を出しているんですよ。ここにその書類がありますけど、場所の確実な特定、通報者と警察官との確実な連携、消防との情報の共有化、態勢の増強……。警察はいつもこんなことを言っています。が、要は担当者の資質、能力の問題です。

村野 昔は、超過勤務をもちとわらない熱血警察官が大勢いましたけど。いまでは、警察も典型的な官僚組織になっちゃったんですよ。サラリーマン化ですよ。

平沢 まさしく、鹿沼の水没事故は、溺れかけている人を助けられなかった。いま、どういう行動を取ったら、危機の状態にある人を助けられるか、という気持ちがかんがえられません。まさに、今の日本の官僚組織、

そして政治を象徴しているといっているでしょう。

沈没しかかっているのは「日本丸」

水没事故の不振が、今の自民党を象徴している……と平沢さんは言う。

私は、全国の市町村長で親しい人が何人もいるが、ほとんどの人が、何が起きてても他人事みたいな感覚で対処している傾向がきわめて大きい。

宅配便じゃないが、官僚、政治家、そして、マスメディアの人間までもが、「クール」になってしまったのだ。

★ ★ ★

平沢 沈没しかかっている日本丸を目の当たりにしているわけですが、経済面での必要な取り組みは大別してふたつなんです。ひとつは財政再建。以前のような赤字国債の大量発行などは行政改革に逆行しますから、不可能です。それと、官制不況の解消です。建築基準法、貸金業法、金融商品取引法など……。必要以上に強化されて、多くの企業が活発な活動ができない、と弱り果てています。法

律の運用を改めたり、法律を少し改正するだけで、いい方向に持っていけるんですけどね……。

村野 自民党の各専門部会などでは、そうした声は上がらないんですか？

平沢 政治家にも官僚にも危機感がないんです。各大臣も、事態を知らないで、官僚から言われるままです。

村野 マスメディアも同じです。三十年くらいまえから大物のオピニオンリーダーだった人たちが、マスコミは付和雷同だとかって他人事のような発言を繰り返します。自分が多大なるリスクを背負っても、マスメディアを引っぱっていきこう、という気概がまったくありません。

平沢 国会議員も、日々いろいろな会合や集会に参加しますが、招待状をもらってヒナ段に座っているのは、現実は何も見えないんです。私は地元の葛飾では、招待状の来ない歓迎されない会合に努めて行くことにしています。盆踊りは毎年二百五十カ所近くは回ります。駅にもしばしば立って忌憚のない厳しい意見をうかがうことにして

……村野まさよし

います。

村野 私も、時間さえあれば、ランエボXとかの自分のクルマで全国の隅々を回って、いまの日本を見つづけています。それが、何事にも熱心に取り組む村野の姿勢を作りあげました。

平沢 ところが、多くの国会議員は、応援してくれる自分の支持者の会合だけを回って、都合のいい話だけを聞いて悠長にかまえてしまうんです。

村野 私は、十数年前に、『週刊文春』に、「リスクだらけの人生」という連載をしました。で、リスクという言葉や概念を一般化させました。人によって、同じリスクを過大に評価する人と過小に評価する人がいます。また、毒蛇とか農薬とか、過大に評価されやすいリスクと、当時のことですが、地震とか夏の海のレ

ジャー事故とか過小に評価されるリスクがありました。地震は阪神大震災があつてから、かなり大きいリスクとして認識されるようになったでしょう。でもリスクは避けるべきものじゃないと、テイクしていかないと、何事も始まりません。ベネフィット、便益を得るには、それなり

のリスクを引き受けないと成就しないことを悟りました。

平沢 私も同感です。去年の参議院議員選挙の最終日、自民党の某最高幹部が新橋のS.L広場で演説したんです。その時、私に「こんなに熱狂的な支持があるから、この選挙は勝てますね。聴衆が最後まで演説を聞いてくれる」と言うんです。でも集まっている人たちは、事前にバスで連れてこられた自民党員の人たちばかりでした。そりゃあ、



「いまでは警察官もサラリーマン化ですよ」

「道路特定財源維持と言っていたのは国交省」

……平沢勝栄

バスで来たので、演説が終わるまでは船りたくても帰れませんが。そんな当たり前のことを知らないんです。

村野 ほとんど、ナントカの王様じゃないですか。

平沢 同じ自民党員として世間たる思いでいっぱいです。

村野 そんな情報収集能力レベルの人が、日本のリーダーになっちゃうんですから、ある意味日本も、まだまだいい国です。

自民党は自分党。

すぐバラバラになる

自覚の乏しい人たちが、国家の舵取りをしているのだから、その船に乗っている一億二千万人の人たちは、タマったものではない。

だが、今後、その舵取りをする人たちを、どこから見つけてくればいいのか。私も一時は、いろいろな人から、国会議員になりませんか、と誘われた。だが、自由な身でいたいので、ならなかったのだが……。

★ ★ ★
平沢 日本が大きく変わろうとしている時期ですから、ある程度の混乱はしかたないともいえ

ます。ともかくでも、このままいけば、自民党は次の選挙でおそらく敗北して野党に陥落する可能性が大です。その場合、政界再編があつて、新しい国家システムができてあがつてくる、というところまで待たなくてはならないでしょう。

村野 いままですと、自民党は、各議員が互いの足ばかり引っ張りあつていますよ。

平沢 自民党は、自分党といつて、自分中心に考えている人が多い。ですから、選挙で負けて下野すれば、馬糞の川流れみたいに、自民党はすぐにバラバラになつちやいますよ。

村野 平沢さん、そんなギャグ、こつそり考えている場合じゃないですよ。いつそのこと、暫定税率を大幅に下げて、ガソリンを100円チョットくらいにし

ちやえば、いろいろな経済不況なども、一挙に解決するんじゃないですか。そのくらいの英断をしないとダメですよ。韓国では、そんなようなこと、やっていますよね。

★ ★ ★
平沢 それはそうなんですけど、地方自治体も暫定税率の存在を強く望んでいます。そういう中で来年度から、道路特定財

源を一般財源化するということを決めていきますから簡単にはいきません。いろいろな経緯があるので、道路特定財源のあり方については更に検討が必要でしょう。

村野 それじゃあ、私が昔から親しくしている南宮良野町の池部彰熱血町長あたりに、地方自治体の予算のなかで、道路特定財源ぶんはいらない、なんて言ってもらいましょうか。一石を投じてもらいましょうか？ 地方交付税制度を変えるキツカケを作るために、自ら「補助金天国」を名乗り出たアパンギヤルドな勇気のある選良の町ですから。愛車がシボレーカマロの池部町長はおそらくすぐに言いますよ。

平沢 なかなか言えないでしょう。そもそも道路特定財源を維持しなければならぬ、と言っていたのは、国土交通省です。全国の地方自治体は、国土交通省に嫌われるのが怖いから動いたところも多いでしょう。もし逆らったら、国土交通省関連の予算がつかなくなつちやいます。区画整理、河川の維持、街

づくり……など、みんな国土交通省の予算ですからね。多岐面に絡めつけが来ます。国土交通省の権限や予算はできるかぎり地方に移すことが今後必要になるでしょう。



村野 とにかく世の中を変えるためには、当事者がリスクを負わなきゃだめですよ。地方交付税の時なんて、私は中野の祖父の土地を担保に、銀行やノンバンクから、トータルで二、三億円は借りました。取材費、情報発信費……などに消えまして。TVで叫んだり、新潮や文春のオピニオン誌にモノカキとして、そうした意見を書いていただけでは、大都市差別国家の日本は、絶対にここまでは変わってきませんよ。

平沢 そうですよ。タダで動くのは、地震だけなんです。村野 タダで動くのは地震だ

け。それも、平沢ギャグですね。とにかく、人数は少ないけれど騒がしい業界、ノイジーマジヨリテイ。人数は多いけれど静かな声の小さい業界、サンレントメジャー。自民党は、ノイジーマジヨリテイからの声を聞きすぎてきましたよ。もっと大局的な考え方が必要ですよ。とにかく官僚、政党、国会議員は、騒がしい集団の利権ばかりを守ることを、金輪際やめないといいません。

平沢 いままでは、ノイジーマジヨリテイの要求を主として受け入れちゃっていますからね。

村野 ま、我々も、ノイジーマジヨリテイの不思議なコンビとして、さらに日本のマスメディア、そして、国家体系をよりよい方向に変えていきましょう。

★ ★ ★